2017年2月期 第3四半期
決算補足資料

2016年12月29日
株式会社アダストリア

ADASTRIA

Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

目次

Ⅰ．営業報告

・ブランドトピックス 3
・販売力の強化 4
・新規事業（国内） 5
・WEB事業 6

Ⅱ．2017年2月期 第3四半期業績

・連結損益計算書 8
・アダストリア単体 10
・海外事業 11
・連結貸借対照表 12
・連結通期予想 13

Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

Ⅰ．営業報告

Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

ブランドトピックス

GLOBAL WORK

売上高（累計）：279億円（前年同期比106.9%）

■ **2017Spring/Summer展示会**
- 大型店化に向けた新商品紹介
- 店頭イベントスペースの実績・展開例を紹介

■ **TVCM “FEEL IT”第2弾を放映（9/16～）**

niko and ...

売上高（累計）：178億円（前年同期比108.1%）

■ **メンズ・服飾雑貨が好調に推移**
- オリジナル商品の開発力向上
- 売れ筋商品を戦略的に積み増し、機会ロス・原価を低減

studio CLIP

売上高（累計）：163億円（前年同期比106.8%）

■ **実需に合わせた商品投入**
- プロパー販売比率の向上により、値引ロスを抑制

■ **「days」シリーズが好調**
- ブランドエントリーを狙った価格帯の新ライン
- 自社生産機能を活用し、商品価値を追求

ADASTRIA Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

まず、営業の状況についてご報告させていただきます。
基幹ブランドであるグローバルワーク・ニコアンド・スタディオクリップは
下半期に入っても引き続き好調に推移しております。

グローバルワークの3月～11月累計売上高は前年同期比106.9%となる279億円でした。
11月にデベロッパー向けの2017年春夏の展示会を開催し、74社にご参加いただきました。
都市型店舗の展開例や、既存店の大型化に向けて展開する新商品、店内イベントスペースで行った催示の紹介などが大変好評でした。
また、“FEEL IT”第2弾TVCMを放映し、ブランド世界観の認知度向上も図っています。

ニコアンドの売上高は前年同期比108.1%となる178億円でした。
組織強化によりメンズ・服飾雑貨部門のオリジナル商品開発力が向上し、自社生産の比率が上昇しています。
売れ筋商品を戦略的に積み増し、機会ロスの低減を図ると同時に、スケールメリットで原価低減にも繋がりました。

スタディオクリップの売上高は前年同期比106.8%となる163億円でした。
R&D室と密に連携しながら実需を意識した商品投入計画を立てた結果、プロパー販売比率の向上、値引ロスの抑制により売上総利益率も改善しました。
また、この秋から自社生産機能を活用してブランドエントリーを狙ったバリューある新
シリーズ「days」を投入したところ、好調に推移しています。

販売力の強化

店舗スタッフのスキルアップとモチベーション向上の取組み

■ **販売力強化研修**

全国7都市・年間50回の実践型研修を実施。

■ **接客ロールプレイング大会**

社内大会の他、各施設開催の大会へ積極参加。
ルミネスト2016決勝大会での「ルミネストゴールド優勝」の受賞を筆頭に、
全国で約70名が上位大会進出。

ADASTRIA Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

店舗、商品に加えて、運営面での取り組み事例として、店舗スタッフのスキルアップとモチベーション向上の取り組みをご紹介いたします。

当社では、販売力強化研修を全国7都市で年間50回ほど開催しております。
優れた販売スキルを有する現役の先輩社員がトレーナーとなり、実践的な接客のノウハウを学ぶ内容です。

また、各施設が実施している接客研修やロールプレイング大会にも積極的に参加し、
他社の取組みや同じ施設で働くスタッフ同士での情報交換をさせていただいております。

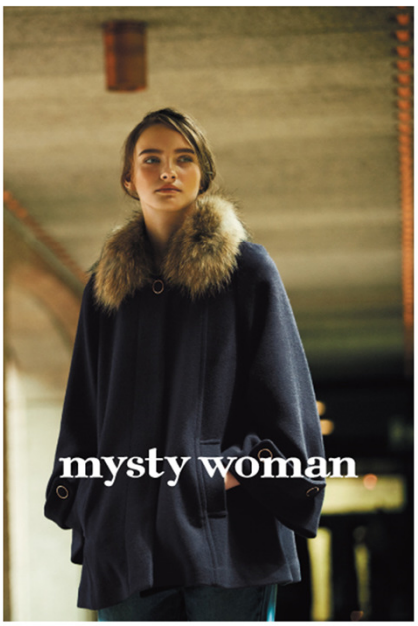
今年度はおかげさまで約70名のスタッフが各施設の代表として上位大会に進出いたしました。
10月に開催された「ルミネスト2016決勝大会」には出場者40名のうち、6名が当社から選出されました。
この大会では、
ルミネ全店舗で働く約3万4千人のショップスタッフの頂点である「ルミネストゴールド優勝」、
コーディネート提案が評価される「スタイリング賞」を受賞することができました。

日々の接客業務について、社内外でスキルを共有し、評価される機会を増やすことで、
店舗スタッフのモチベーション向上につなげ、運営力を磨いております。

新規事業（国内）

ヤングファッションマーケットのシェア拡大

■ 株式会社アリシアのグループ会社化に関する最終契約を締結



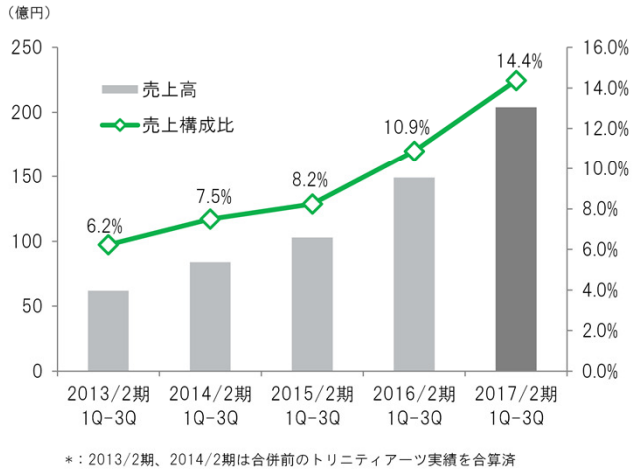
ADASTRIA Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved. 5

先日、来年2月1日より株式会社アリシアをグループ会社とすることを発表させていただきました。

アリシア社は、『PAGEBOY（ページボーイ）』『mysty woman（ミスティウーマン）』などのブランドを展開しており、ヤングファッション市場において強い影響力を有しております。アリシア社の商品企画力等の強みを当社ブランドに活かすだけでなく、当社の生産背景やWEB販売のプラットフォームをアリシア社のブランドに活用することで、グループ全体でヤングカジュアルマーケットで更に強固なポジションを築いていくことができるものと考え、この度のグループ化に至りました。

WEB事業

売上高（累計）　：204億円（前年同期比136.4%）
WEB構成比：14.4%
自社EC[.st]会員数：約530万人



＊：2013/2期、2014/2期は合併前のトリニティアーツ実績を合算済

■ [.st]が2周年記念キャンペーンを開催

Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

3月～11月累計のWEB事業売上高は204億円、前年同期比136.4%と引き続き高い伸びを示しており、
国内売上高に占めるWEB売上比率は14.4%となりました。
自社ECサイトと他社ECサイト両方とも順調に売上高を拡大しています。

また、全17ブランドが集結する自社ECサイト[.st]（ドットエスティ）の会員数も530万人を突破し、
国内のファッションサイトの中で大きな存在となっています。

旧ポイントと旧トリニティアーツ社のサイトを2014年11月統合し、[.st]を立ち上げてから
2周年を迎えました。
2周年記念キャンペーンには割引クーポンやプレゼントが当たるゲームを公開し、
多くの方にご参加いただき、新規会員獲得や売上拡大に貢献しました。

Ⅱ．2017年2月期
第3四半期業績

Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

連結損益計算書

（百万円）

（連結）	2016/2期 第3四半期				2017/2期 第3四半期					
	9ヶ月累計		3ヶ月		9ヶ月累計			3ヶ月		
		構成比		構成比		構成比	前年同期比		構成比	前年同期比
売上高	146,814	100.0%	49,782	100.0%	148,925	100.0%	101.4%	51,198	100.0%	102.8%
売上総利益	86,063	58.6%	30,511	61.3%	87,456	58.7%	101.6%	30,910	60.4%	101.3%
販管費	71,715	48.8%	24,296	48.8%	73,823	49.6%	102.9%	25,332	49.5%	104.3%
広告宣伝費	4,586	3.1%	1,883	3.8%	4,889	3.3%	106.6%	1,918	3.7%	101.9%
人件費	24,702	16.8%	8,201	16.5%	25,149	16.9%	101.8%	8,368	16.3%	102.0%
設備費	29,336	20.0%	9,890	19.9%	29,410	19.7%	100.3%	10,086	19.7%	102.0%
のれん償却費	1,667	1.1%	546	1.1%	1,638	1.1%	98.3%	546	1.1%	100.0%
その他	11,424	7.8%	3,775	7.6%	12,736	8.6%	111.5%	4,412	8.6%	116.9%
営業利益	14,347	9.8%	6,214	12.5%	13,632	9.2%	95.0%	5,578	10.9%	89.8%
アダストリア単体 *1 *3 (のれん償却費除き)	15,455	-	6,459	-	14,911	-	96.5%	5,990	-	92.7%
海外 *2	▲ 326	-	▲ 107	-	▲ 394	-	-	▲ 59	-	-
N9&PG	▲ 190	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アダストリア・ロジスティクス *3	100	-	100	-	497	-	-	135	-	135.0%
経常利益	14,665	10.0%	6,341	12.7%	13,800	9.3%	94.1%	5,749	11.2%	90.7%
純利益	7,964	5.4%	3,807	7.6%	11,172	7.5%	140.3%	6,324	12.4%	166.1%
EBITDA	20,551	14.0%	8,278	16.6%	19,511	13.1%	94.9%	7,607	14.9%	91.9%
減価償却費	4,536	3.1%	1,517	3.0%	4,240	2.8%	93.5%	1,483	2.9%	97.8%
のれん償却費	1,667	1.1%	546	1.1%	1,638	1.1%	98.3%	546	1.1%	100.0%

*1：2016/2期上期実績には生産部門を含まない
*2：海外5法人(香港・台湾・中国・韓国・シンガポール)の単純合算
*3：2016/2期 下期より、N9&PGの物流部門（旧ポジック）がアダストリア・ロジスティクスに商号変更

Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

連結損益計算書（第3四半期3ヶ月）

シーズン立ち上がりの苦戦で増収減益
～ 次の成長ステージに向けた投資は継続 ～

■ **売上高：511億円**（前年同期比102.8%）
国内既存店売上高前年比103.0%と堅調持続。
グローバルワーク・ニコアンド・スタディオクリップなどが牽引。

■ **売上総利益率：60.4%**（前年同期比▲0.9p）
原価低減は進んでいるものの、秋物消化で値下げ率がやや拡大。

■ **販管費率：49.5%**（前年同期比+0.7p）
- 人件費　：16.3%（同▲0.2p）WEB売上比率上昇
- 設備費　：19.7%（同▲0.2p）減価償却費減少
- その他　：　8.6%（同+ 1.0p）カード手数料・小口配送費等の増加

■ **営業利益：55億円**（前年同期比89.8%）
営業利益率10.9%（前年同期比▲1.6p）、EBITDAマージン14.9%（同▲1.7p）

■ **純利益：63億円**（前年同期比166.1%）
投資有価証券売却益37億円を特別利益として計上。
税率の低下により、有価証券売却益を除いてもほぼ前年同期比並みの着地。

ADASTRIA Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

連結損益計算書のご説明をいたします。
当第3四半期は、シーズン立ち上がりの苦戦で増収減益となりました。

国内既存店売上高前年比が103.0%と堅調に推移した結果、9月～11月の連結売上高は前年同期比102.8%の511億円となりました。
ブランド別では、グローバルワーク、ニコアンド、スタディオクリップ、ベイフロー等が牽引しました。

売上総利益率は、60.4%と前年同期比▲0.9P低下しました。
原価低減は進んでいるものの、苦戦していた秋物の消化で値下げ率がやや拡大しました。
販管費率は、49.5%と前年同期比＋0.7P上昇しました。
内訳を申し上げますと、
人件費率はWEB売上比率の上昇によって▲0.2P低下、
設備費率は減価償却費の減少で同じく▲0.2低下、
その他販管費の対売上比率が+1.0P上昇しました。
こちらは、上半期決算でのご説明の繰り返しとなりますが、
カード手数料や、WEB事業でご自宅に商品をお届けする小口配送費が増加するなど、
お客様の購買行動の変化に伴う費用の増加が主な要因となっております。
またそれだけではなく、従来のビジネスのやり方を見直し、新しい仕組みを構築する上で社外の専門家の知見も活用しており、そういった費用も含まれております。
厳しい環境下ではありますが、次の成長ステージに向けた投資は計画通り実行しています。

この結果、営業利益は前年同期比89.8%となる55億円となりました。
営業利益率は10.9%、EBITDAマージンは14.9%です。

特別利益として、投資有価証券売却益37億円を計上しました。
加えて、法人税率の低下等の要因により、純利益は前年同期比166.1%の63億円、
有価証券売却益を除いてもほぼ横ばいの着地となっています。

アダストリア単体

（百万円）

	2016/2期 第3四半期 *1		2017/2期 第3四半期			
	9ヶ月累計	3ヶ月	9ヶ月累計		3ヶ月	
				前期比		前期比
売上高	137,784	47,113	142,369	103.3%	48,954	103.9%
（既存店前年比）	105.5%	106.6%	102.5%	-	103.0%	-
グローバルワーク	26,159	9,047	27,963	106.9%	9,599	106.1%
ローリーズファーム *2	19,455	6,631	18,230	93.7%	6,248	94.2%
ニコアンド	16,534	5,553	17,871	108.1%	6,242	112.4%
スタディオクリップ	15,309	4,689	16,356	106.8%	5,345	114.0%
レプシィム	11,302	3,985	11,716	103.7%	3,975	99.7%
売上総利益	80,584	28,589	82,644	102.6%	29,366	102.7%
売上総利益率	58.5%	60.7%	58.0%	▲ 0.4p	60.0%	▲ 0.7p
販管費（のれん償却費除き）	65,129	22,129	67,733	104.0%	23,376	105.6%
販管費率	47.3%	47.0%	47.6%	+0.3p	47.8%	+0.8p
営業利益（のれん償却費除き）	15,455	6,459	14,911	96.5%	5,990	92.7%
営業利益率	11.2%	13.7%	10.5%	▲ 0.7p	12.2%	▲ 1.5p

出店	56	18	72	34
退店	40	5	26	5
改装	33	13	61	20
期末店舗数	1,263	1,263	1,266	1,266

*1：2016/2期上期実績には生産部門を含まない
*2：2017/2期よりミィパーセント事業をヘザー営業部へ移管、アウトレット6店舗をアウトレット営業部より移管
2016/2期の実績は、上記の移管を反映して記載

ADASTRIA Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

こちらはアダストリア単体の損益計算書ですが、
連単倍率が1倍近くとなっておりまして、先程の連結業績と説明が重なりますので、
説明は割愛させていただきます。

2016/2期下期より単体に生産部門を統合しておりますので、
第3四半期3ヶ月の業績については、前年と単純比較が可能となっています。

出退店につきましては、第3四半期の3ヶ月間で34店舗を出店し、5店舗を退店しました。
出店のブランド別内訳は、グローバルワークが5店舗、ニコアンドが5店舗、
スタディオクリップ4店舗、ベイフローが7店舗、その他13店舗となっております。
通期出退店舗数は上半期決算発表時点の見通しに比べて、出退店それぞれ増加しておりますが、
純増店舗数はほぼインラインです。

海外事業

（百万円）

（海外現法単純合算）	2016/2期 第3四半期		2017/2期 第3四半期					
	9ヶ月累計	3ヶ月	9ヶ月累計			3ヶ月		
				前期比（円ベース）	前期比（現地通貨ベース）		前期比（円ベース）	前期比（現地通貨ベース）
売上高	8,947	3,010	7,871	88.0%	101.7%	2,614	86.8%	103.7%
香港	5,489	1,934	4,842	88.2%	98.2%	1,592	82.3%	98.4%
中国	1,467	502	1,344	91.6%	108.1%	454	90.5%	114.1%
韓国	665	222	581	87.5%	100.9%	218	98.1%	112.1%
台湾	1,143	362	1,102	96.5%	110.7%	349	96.3%	112.1%
シンガポール	181	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	▲ 326	▲ 107	▲ 394	-	-	▲ 59	-	-
香港	79	6	▲ 194	-	-	▲ 41	-	-
中国	▲ 142	▲ 33	▲ 147	-	-	▲ 6	-	-
韓国	▲ 254	▲ 110	▲ 177	-	-	▲ 34	-	-
台湾	75	27	120	159.7%	183.3%	23	85.4%	103.0%
シンガポール	▲ 84	2	4	-	-	-	-	-

出店	26	10	5	1
退店	25	10	7	7
改装	5	3	5	5
期末店舗数	107	107	102	102

- **香港：**中国人観光客の減少で、小売販売額全体が低迷。
- **韓国：**ブランド本来のメッセージを強く打ち出したことにより、改善傾向継続。

ADASTRIA Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

海外事業についてご説明いたします。

海外の第3四半期は7-9月の3ヶ月となりますが、
円ベースの売上高は前年同期比86.8%となる26億円、営業利益は▲5900万円の損失となりました。

香港は中国人観光客減少の影響を受けて小売販売額全体が低迷しており、当社も苦戦が続いています。

韓国は試行錯誤の後、ブランド本来のメッセージを強く打ち出すMDに変更したことにより店舗段階では黒字が定着してきました。

出退店につきましては、第3四半期の3ヶ月間で中国で1店舗を出店しております。

連結貸借対照表

（百万円）

（連結）	2015年11月末	構成比	2016年2月末	構成比	2016年11月末	構成比	2015年11月末比増減額	2016年2月末比増減額
流動資産	44,793	48.5%	45,465	50.3%	48,666	53.3%	+3,872	+3,200
現預金	8,992	9.7%	19,460	21.5%	10,660	11.7%	+1,668	▲8,799
棚卸資産	19,668	21.3%	15,076	16.7%	20,743	22.7%	+1,075	+5,667
固定資産	47,547	51.5%	44,988	49.7%	42,611	46.7%	▲ 4,935	▲2,377
有形固定資産	11,688	12.7%	11,215	12.4%	11,482	12.6%	▲ 206	+266
のれん	6,039	6.5%	5,493	6.1%	3,855	4.2%	▲ 2,184	▲1,638
投資その他資産	28,265	30.6%	26,807	29.6%	25,454	27.9%	▲ 2,810	▲1,353
総資産	92,340	100.0%	90,454	100.0%	91,277	100.0%	▲ 1,062	+823
負債	38,935	42.2%	37,171	41.1%	35,843	39.3%	▲ 3,092	▲1,328
有利子負債	1,935	2.1%	1,867	2.1%	1,564	1.7%	▲ 370	▲302
純資産	53,405	57.8%	53,282	58.9%	55,434	60.7%	+2,029	+2,151
自己株式	▲ 1,818	▲2.0%	▲ 1,824	▲2.0%	▲ 4,643	▲5.1%	▲ 2,824	▲2,818

- **現預金**　：前年同期末比ではネットキャッシュで+20億円増加。
- **棚卸資産**：在庫消化を進めた結果、第2四半期末（前年同期末比120.6%）に比べて
- 同105.5%と伸び率は大幅縮小。
- **固定資産**：のれんの減少に加え、投資有価証券の売却により投資その他資産が減少。
- **純資産**　：自己株式を取得（1,108千株　2,564百万円）。純資産比率は60.7%と安定的な水準を維持。

ADASTRIA Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

連結貸借対照表です。
主に前年同期末との比較でご説明いたします。

現預金は106億円と、ネットキャッシュでは20億円以上増加しました。
棚卸資産は、207億円と前年同期比105.5%、10億円の増加となっていますが、
秋物の在庫消化を進めた結果、第2四半期末の前年同期末比120.6%に比べて、伸び率は大幅に縮小しています。

また、投資有価証券の売却により投資その他資産が減少しました。
純資産は554億円で、10月に自己株式25億円を取得しましたが、純資産比率60.7%と安定的な水準を維持しております。

連結通期予想

変更なし

（百万円）

（連結）	2016/2期 実績 通期	2017/2期 通期 期初予想	2016年9月30日修正予想	構成比	前期比
売上高	200,038	208,900	208,900	100.0%	104.4%
営業利益	16,004	17,000	17,000	8.1%	106.2%
経常利益	16,185	17,300	17,300	8.3%	106.9%
純利益	9,122	10,000	12,000	5.7%	131.5%
ROE	18.3%	17.7%	21.3%	-	+3.0p
EBITDA	24,612	24,900	24,900	11.9%	101.2%
減価償却費	6,394	5,700	5,700	2.7%	89.1%
のれん償却費	2,213	2,200	2,200	1.1%	99.4%
設備投資	6,364	8,600	8,600		

ADASTRIA Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

第3四半期の業績は概ね計画通りであり、上半期決算時に公表しております通期業績の会社計画に変更はありません。年末年始のセールはもちろんのこと、セールが終わってからの端境期にいかに魅力的な売場としてお客様に店頭に足を運んでいただくか各ブランドが知恵を絞り、会社計画の達成を目指してまいります。

以上、簡単ではございますが、
第3四半期の営業実績および決算概要についてご説明申し上げました。

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

その他留意事項

資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は元データから算出しております。

Copyright © 2016 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

ADASTRIA